



資料編



1. 計画策定の経緯

《令和元年度》

月 日	会議名称等	内 容
7月1日	第1回創生本部会議 第1回総合計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略改定方針（案）について 総合計画策定方針（案）について
7月24日	第1回創生戦略会議 第1回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 現行総合戦略の進捗状況について 総合戦略改定方針（案）について 総合計画策定方針（案）について
7～8月	各種アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生アンケート （7月2日～19日） 保護者アンケート （7月9日～8月2日） 住民意識調査 （7月31日～8月31日）
8月23日	第1回総合計画策定専門部会	<ul style="list-style-type: none"> フォローアップシート、ヒアリングシートの作成依頼（～10月4日） 総合戦略評価シートの修正依頼（～9月13日）
12月2日	第2回創生本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 現行総合戦略の進捗状況について 第2期総合戦略素案について
12月2～10日	各課からの意見取りまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 進捗状況の確認依頼 素案に対する意見取りまとめ
1月21日	第2回創生戦略会議	<ul style="list-style-type: none"> 現行総合戦略の進捗状況について 住民意識調査結果について 第2期総合戦略素案について
1月31日	第3回創生本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略（案）について
2月7～17日	パブリックコメント募集	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略（案）について
2月26日	第3回創生戦略会議 第2回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略（案）について アンケート結果について
3月2日	第4回創生本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略の策定について
3月4日	令和2年第1回議会定例会 全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略の策定について報告
3月10日	令和2年第1回議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> 八千代町議会の議決に付すべき事件を定める条例の制定

《令和2年度》

月 日	会議名称等	内 容
7月1日	第2回総合計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想素案について 町民からの意見募集について 事業計画調書の作成依頼
7月6日	第3回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想素案について 町民からの意見募集について
7月15日 ～8月17日	町民から意見募集	<ul style="list-style-type: none"> 八千代町の将来像、まちづくりに関する意見募集
7月7日 ～8月24日	「未来の八千代町」をテーマにしたポスター作品募集	<ul style="list-style-type: none"> 町内の小学校・中学校・高校に募集
7月7日 ～8月24日	八千代町タイムカプセルプロジェクト「10年後の自分からの手紙」募集	<ul style="list-style-type: none"> 町内の中学校・高校に募集
7月13日 ～8月31日	「未来の八千代町」をテーマにした標語の募集	<ul style="list-style-type: none"> HP・広報等で募集
9月2～3日	第2回総合計画策定専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画素案について
10月1日	第3回総合計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想（案）について
10月1日～8日	第3回総合計画策定専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（案）について
10月16日	第4回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画の諮問 基本構想（案）について
10月26日 ～11月6日	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想（案）について
11月9日～13日	ふるさとザ談会（5地区）	<ul style="list-style-type: none"> 町民からの意見募集
11月13日	第5回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（案）について 第6次総合計画についての答申
12月4日	令和2年第4回議会定例会	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画基本構想の議決
12月14日～18日	第4回総合計画策定専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（案）について
1月4日	第4回総合計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画（案）について
1月20日～26日	第6回総合計画審議会 （書面会議）	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画について
2月1日	定例庁議	<ul style="list-style-type: none"> 第6次総合計画の決定

2. 諮問・答申書

令和2年10月16日

八千代町総合計画審議会
会長 宮本 直志 殿

八千代町長 野村 勇

八千代町第6次総合計画について（諮問）

八千代町総合計画審議会条例第2条の規程により、八千代町第6次総合計画について、貴審議会の意見を求めます。

令和2年11月13日

八千代町長 野村 勇 殿

八千代町総合計画審議会
会長 宮本直志

八千代町第6次総合計画について（答申）

令和2年10月16日付けで諮問のありました八千代町第6次総合計画について、本審議会において慎重に審議を行った結果、適切であると認め、ここに答申します。

なお、本計画の策定及び推進にあたっては、下記の意見に十分留意されるよう要望します。

記

1. 本計画の趣旨や内容について町民に周知し、広く町民の理解と協力を求め、「ともにつむぎ ひびきあう 協奏のまち 八千代」の推進に努められたい。
2. 施策の推進にあたっては、厳しい財政状況のなか、施策の重要度、優先度を考慮し、限られた財源で効率的かつ計画的に事業の実施を図られたい。
3. 人口減少、少子高齢時代のなかで、結婚から妊娠・出産・子育ての一貫したサポート体制を整備するとともに、企業の誘致、雇用の確保をはかり、若者が住んでみたくなる、そして、いつまでも住み続けたいと思える、まちづくりに努められたい。

また、誰もが安心して暮らせる防災・防犯対策を進めるとともに、環境対策や国際化に向けた人財育成など町民が主役のまちづくりを進められたい。

3. 総合計画審議会条例

八千代町総合計画審議会条例

昭和43年12月10日
条例第30号

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、八千代町総合計画審議会(以下「審議会」という。)をおく。

(所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じ、八千代町総合計画の策定その他の実施に関し、必要な調査及び審議をする。

(組織)

第3条 審議会委員(以下「委員」という。)の定数は次のとおりとし、町長が任命する。

- (1) 町議会議員 5人
- (2) 学識経験者 6人
- (3) 一般住民 5人

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長をおく。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し審議会を代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の定数の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。
- 3 審議会の議事は、出席人員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画財政部まちづくり推進課が担当する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、町長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和46年条例第7号の2)

1 この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則(昭和54年条例第3号)

この条例は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則(昭和58年条例第1号抄)

1 この条例は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則(平成17年条例第11号抄)

1 この条例は、平成18年1月1日から施行する。

附 則(平成28年条例第16号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成29年条例第1号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

4. 総合計画審議会委員名簿

選出区分	氏 名	職 名	備 考
町議会議員	関 眞 幸	八千代町議会議員	副会長 R 1.12.12 から
	野 村 勇	八千代町議会議員	R 1.12.12 から R 2. 8.19 まで
	安 田 忠 司	八千代町議会議員	R 1.12.12 から
	大 里 岳 史	八千代町議会議員	R 1.12.10 まで
	大久保 弘 子	八千代町議会議員	R 1.12.10 まで
	上 野 政 男	八千代町議会議員	R 1.12.10 まで R 2.10. 1 から
	生 井 和 巳	八千代町議会議員	
	大久保 武	八千代町議会議員	R 1.12.10 まで
	宮 本 直 志	八千代町議会議員	会 長 R 1.12.12 から
学識経験者	小 竹 節	八千代町農業委員	
	藤 平 孝 雄	J A常総ひかり理事	
	諏 訪 善 作	八千代町商工会会長	
	野 口 晴 江	八千代町教育委員	R 2. 9.30 まで
	染 野 昭 彦	八千代町教育委員	R 2.10. 1 から
	川 上 ヒロ子	八千代町地域女性団体連絡会会長	
	大久保 敏 江	八千代町行政改革推進委員	
住民代表	古 橋 清 成	西 豊 田 地 区 長	
	水 書 正 義	安 静 地 区 長	
	廣 瀬 賢 一	中 結 城 地 区 長	
	古 谷 博	下 結 城 地 区 長	
	島 田 清 晴	川 西 地 区 長	

5. 策定委員会規程・策定専門部会会則

八千代町総合計画策定委員会規程

昭和43年10月1日

規程第6号

(目的)

第1条 進展する社会経済情勢に対処しつつ、将来の町のあり方を検討し、長期的視野に立った総合計画を立てるため、八千代町総合計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設ける。

(組織)

第2条 委員会は、委員長及び委員をもつて組織する。

2 委員長は、副町長をもつて充て、委員長に事故があるときは、企画財政部長が代理する。

3 委員は、教育長、公室長、部長、会計管理者、教育次長、秘書課長、総務課長、まちづくり推進課長、財務課長、議会事務局長及び農業委員会事務局長をもつて充てる。

(会議)

第3条 委員会は、委員長が必要に応じ招集し、会議の議長となる。

2 委員会は、次にかかげる事項を審議する。

(1) 八千代町総合計画策定に関すること。

(2) 総合計画に必要な調査資料のしゅう集に関すること。

(専門委員会)

第4条 委員会の作業部門として専門部会を設け、総合計画に必要な調査資料のしゅう集等を行うとともに計画を立案して委員会に提出させるものとする。

(報告)

第5条 委員長は、会議の結果を町長に報告するものとする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、企画財政部まちづくり推進課が担当する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、委員長が定める。

八千代町総合計画策定専門部会会則

昭和43年10月12日

会則第1号

(名称)

第1条 この部会は、八千代町総合計画策定専門部会（以下「部会」という。）と称する。

(目的)

第2条 部会は、八千代町総合計画策定委員会の専門部会として、八千代町総合計画策定のための調査研究を行い、計画案を策定し委員会に提出することを目的とする。

(構成)

第3条 部会の構成は次によるものとし、まちづくり推進課長を委員長とする。

秘書公室	秘書課	1人		
総務部	総務課	1人	消防交通課	1人
	税務課	1人	戸籍住民課	1人
企画財政部	まちづくり推進課	1人	財務課	1人
保健福祉部	福祉課	3人	長寿支援課	1人
	国保年金課	1人	健康増進課	1人
産業建設部	産業振興課	2人	都市建設課	2人
	環境対策課	1人	上下水道課	2人
	会計課	1人		
	議会事務局	1人		
	農業委員会事務局	1人		
教育委員会	学校教育課	1人	生涯学習課	2人
	給食センター	1人		

2 部会に次の部門を設ける。

- (1) 生活環境部門
- (2) 産業部門
- (3) 教育文化部門
- (4) 保健福祉部門
- (5) 行財政部門

3 各部に部長をおき、部長は部員の互選によるものとする。

(会議)

第4条 会議は、必要に応じ委員長が招集し議長となる。

2 部長は、必要に応じて、部門別会議を招集するものとする。

(業務)

第5条 部会は、次の業務を行う。

- (1) 八千代町総合計画に関する調査研究
- (2) 資料のしゅう集、事情の聴取
- (3) 総合計画案の作成

(報告)

第6条 委員長は、総合計画案を八千代町総合計画策定委員会にはかるものとする。

6. 八千代町の現況

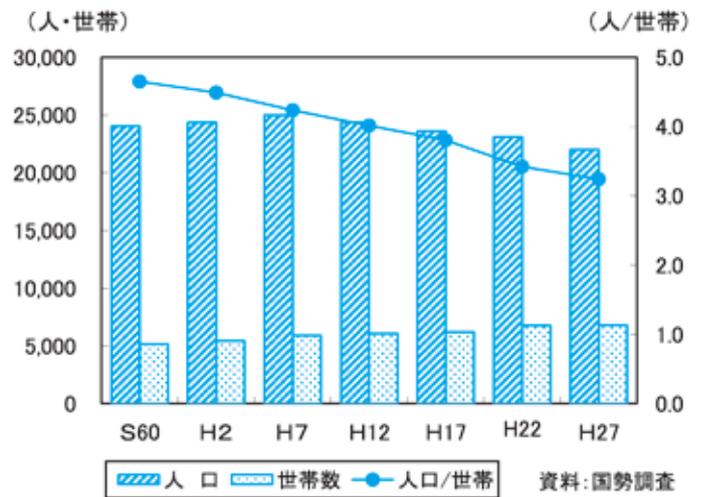
1) 人口動向

①人口・世帯数の推移

本町の総人口は、平成7年を境に減少傾向となっており、平成27年（国勢調査）では22,008人となっています。

世帯数は増加傾向にあり、平成27年で6,799世帯、1世帯当たりの人員は平成27年では3.24人/世帯となっています。

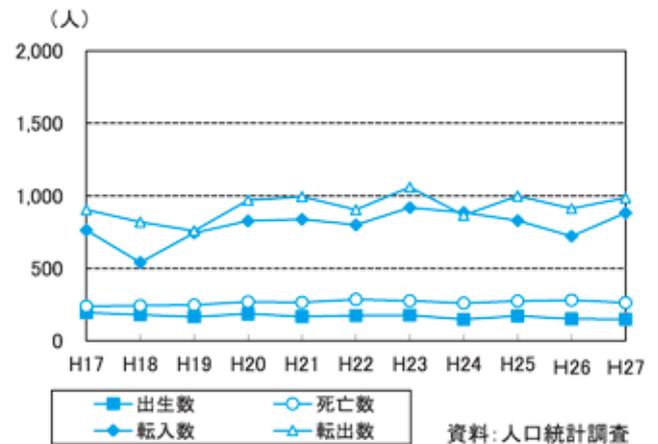
【人口・世帯数の推移】



②人口動態

自然動態では死亡数が出生数を上回り自然減となっており、社会動態では転出数が転入数を上回り社会減となっています。

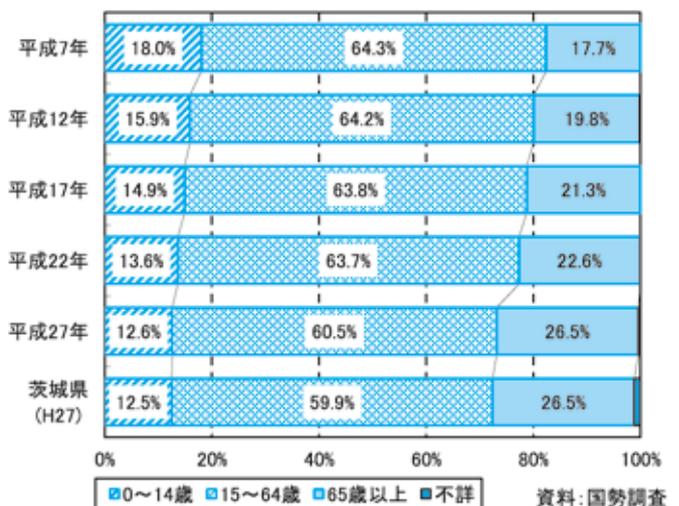
【人口動態の推移】



③年齢3階層別人口の推移

3階層別人口では、0～14歳人口が減少、65歳以上人口が増加し、県の平均とほぼ同様に少子化・高齢化が進行しています。

【年齢3階層別人口比の推移】



(2) 産業動向

① 産業別就業人口

就業人口は、従業地及び常住地ともに減少の傾向にあり、平成27年で常住地では11,786人、従業地では9,904人となっています。また、従業地における就業人口が常住地の就業人口を上回り、地域における生活の場となっています。

従業地及び常住地ともに、第1次産業を中心に第3次産業へ移行しつつありますが、工業団地の整備などにより第2次産業就業者の割合が高くなっています。また、茨城県の平均的な就業構造に比べ、第1次産業及び第2次産業の就業比率が高くなっています。

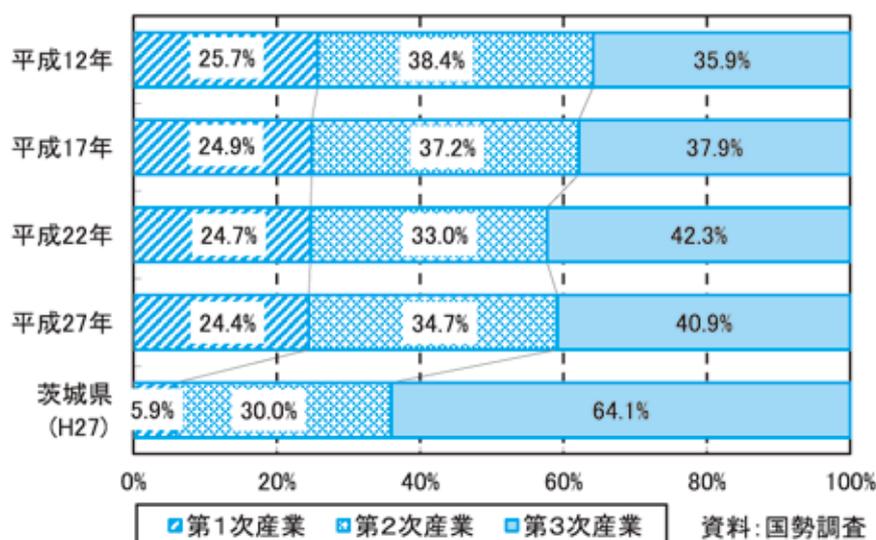
【産業別就業人口】

	常住地ベース				従業地ベース				従業地/常住地の比率
	第1次	第2次	第3次	合計	第1次	第2次	第3次	合計	
平成7年	3,013	5,410	4,641	13,064	3,011	4,402	3,431	10,844	83.0%
	23.1%	41.4%	35.5%	100.0%	27.8%	40.6%	31.6%	100.0%	
平成12年	2,610	5,281	4,922	12,813	2,651	3,962	3,701	10,314	80.5%
	20.4%	41.2%	38.4%	100.0%	25.7%	38.4%	35.9%	100.0%	
平成17年	2,418	4,768	5,162	12,348	2,467	3,696	3,760	9,923	80.4%
	19.6%	38.6%	41.8%	100.0%	24.9%	37.2%	37.9%	100.0%	
平成22年	2,444	4,159	5,504	12,107	2,471	3,302	4,231	10,004	82.6%
	20.2%	34.4%	45.5%	100.0%	24.7%	33.0%	42.3%	100.0%	
平成27年	2,360	4,131	5,295	11,786	2,419	3,436	4,049	9,904	84.0%
	20.0%	35.1%	44.9%	100.0%	24.4%	34.7%	40.9%	100.0%	
平成27年茨城県	79,511	406,072	915,101	1,400,684	79,718	403,250	860,667	1,343,635	95.9%
	5.7%	29.0%	65.3%	100.0%	5.9%	30.0%	64.1%	100.0%	

※分類不能な産業は、第3次産業に含む

資料：国勢調査

【産業別就業人口比の推移（従業地）】



②農業の動向

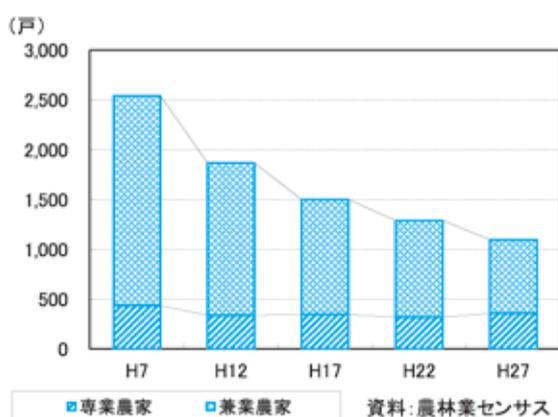
農家戸数及び経営耕地面積ともに減少傾向にあり、平成27年には農家戸数1,619戸、経営耕地面積3,165haとなっています。

【農業の推移】

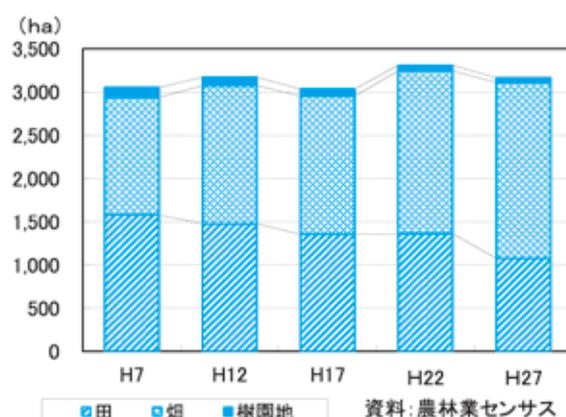
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
農家戸数(戸)	2,543	2,289	2,038	1,844	1,619
専業	435	339	346	321	356
兼業	2,108	1,533	1,157	971	744
第1種	564	450	376	346	211
第2種	1,544	1,083	781	625	533
自給的農家	—	417	535	552	519
経営耕地面積(ha)	3,051	3,171	3,034	3,309	3,165
田	1,580	1,477	1,355	1,362	1,077
畑	1,357	1,597	1,597	1,882	2,029
果樹園	114	97	82	65	59

資料：農林業センサス

【農業戸数の推移】



【経営耕地面積の推移】



③工業の動向

事業所及び従業員数は毎年変動していますが、製造品出荷額は近年増加の傾向となっています。

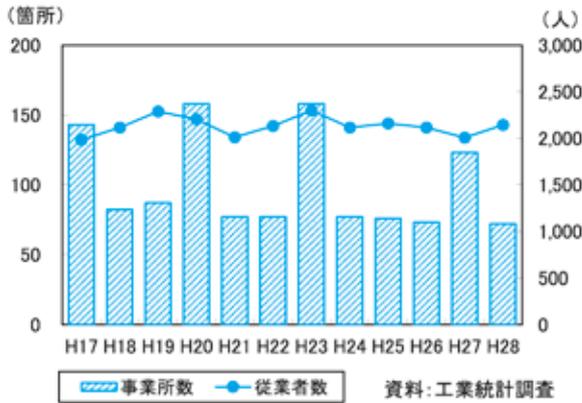
平成28年の事業所数は過去12年間で最も少ない72カ所となっていますが、製造品出荷額は815億4,000万円と増加の傾向がみられます。

【工業の推移】

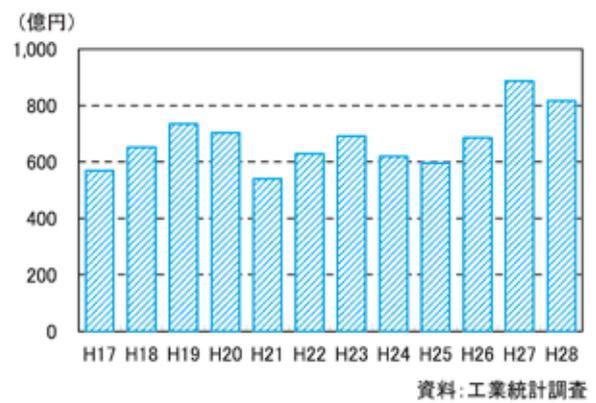
	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額(百万円)
平成17年	143	1,981	56,958
平成18年	82	2,114	65,237
平成19年	87	2,287	73,506
平成20年	158	2,203	70,307
平成21年	77	2,009	54,067
平成22年	77	2,130	62,887
平成23年	158	2,298	69,143
平成24年	77	2,114	61,981
平成25年	76	2,160	59,596
平成26年	73	2,115	68,611
平成27年	123	2,006	88,583
平成28年	72	2,142	81,544

資料：工業統計調査

【事業所数・従業者数の推移】



【製造品出荷額の推移】



④商業の動向

卸売業の店舗・従業員は平成14年、販売額は平成16年を境に増加に転じ、店舗数や従業員数は増加傾向が続いています。

小売業の店舗数は減少、従業員は平成11年、販売額は平成14年から減少傾向にありましたが、平成28年には増加に転じています。

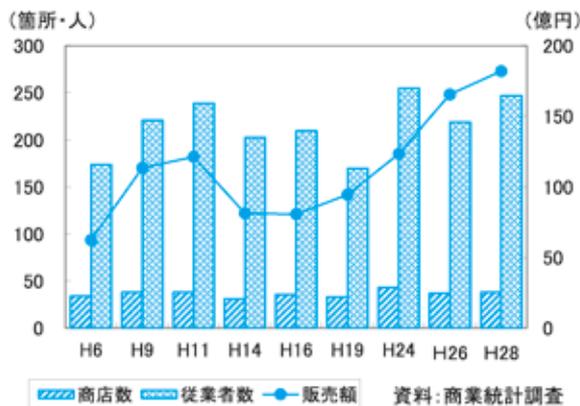
【商業の推移】

単位: 100万円

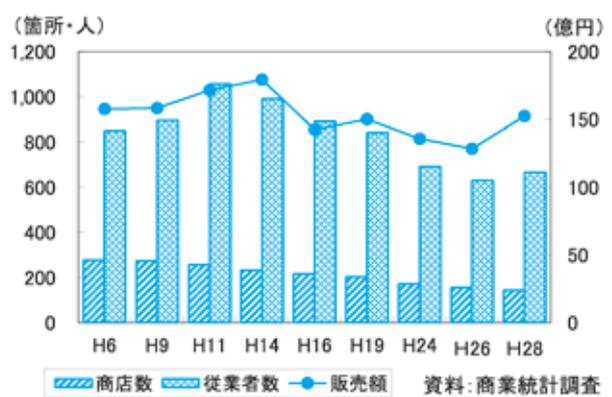
年次	総数			卸売業			小売業		
	商店数	従業者数	販売額	商店数	従業者数	販売額	商店数	従業者数	販売額
平成6年	311	1,023	22,002	34	174	6,239	277	849	15,763
平成9年	311	1,117	27,182	38	221	11,353	273	896	15,829
平成11年	294	1,296	29,302	38	239	12,149	256	1,057	17,152
平成14年	263	1,194	26,078	31	203	8,135	232	991	17,943
平成16年	252	1,102	22,332	36	210	8,074	216	892	14,259
平成19年	235	1,011	24,493	33	170	9,470	202	841	15,023
平成24年	214	948	25,938	43	255	12,353	171	693	13,585
平成26年	192	850	29,400	37	219	16,555	155	631	12,845
平成28年	181	914	33,462	38	247	18,203	143	667	15,259

資料: 商業統計調査

【卸売業の推移】



【小売業の推移】



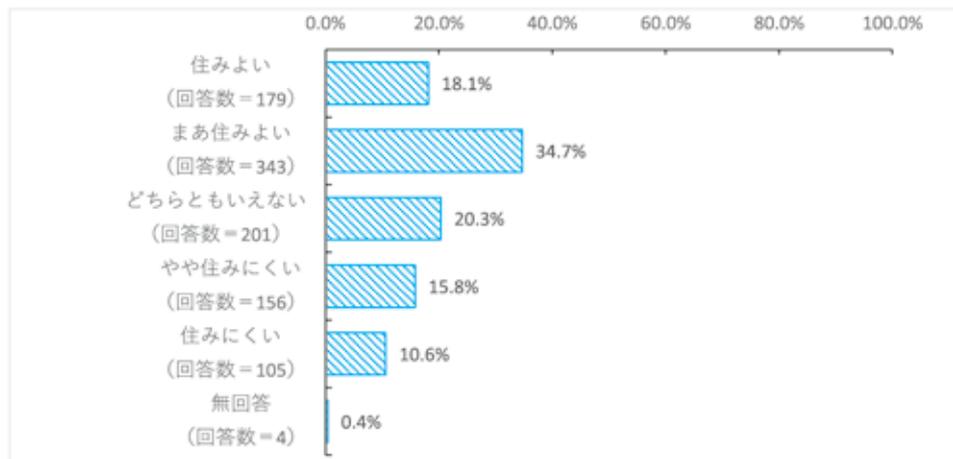
7. アンケート調査

1) 住民意識調査結果の概要

- 調査対象：16歳以上の町民（住民基本台帳から無作為抽出）
（令和元年7月1日現在、22,106人）
- 配布数：3,000票
- 回収数：988票（回収率：32.9%）
- 調査期間：令和元年7月31日～令和元年8月31日

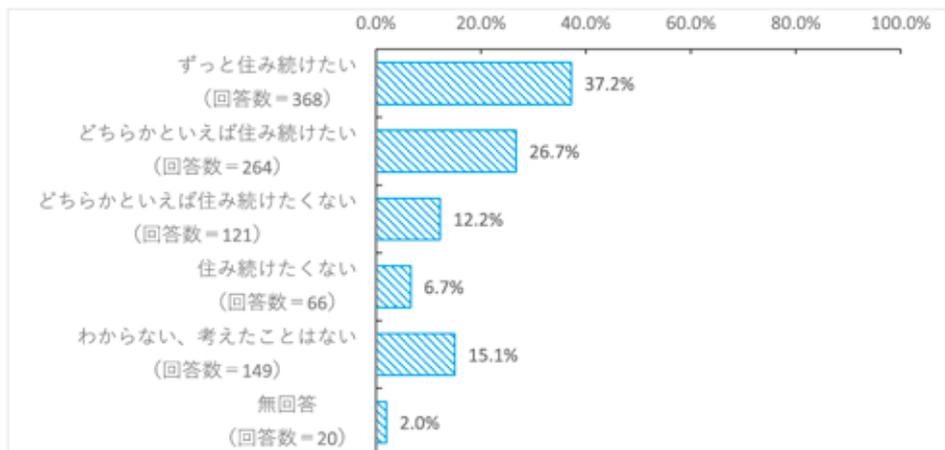
八千代町は、あなたにとって住みよいまちだと思いませんか。

- 『八千代町の住みよさ』については、「住みよい」「まあ住みよい」と感じている人が52.8%となっていますが、「住みにくい」「やや住みにくい」と感じている人が26.4%、「どちらとも言えない」と感じている人が20.3%となっています。
⇒「住みにくい」と感じている人のニーズを把握しながら、「住みよい」と感じることのできるまちづくりに取り組んでいくことが求められています。



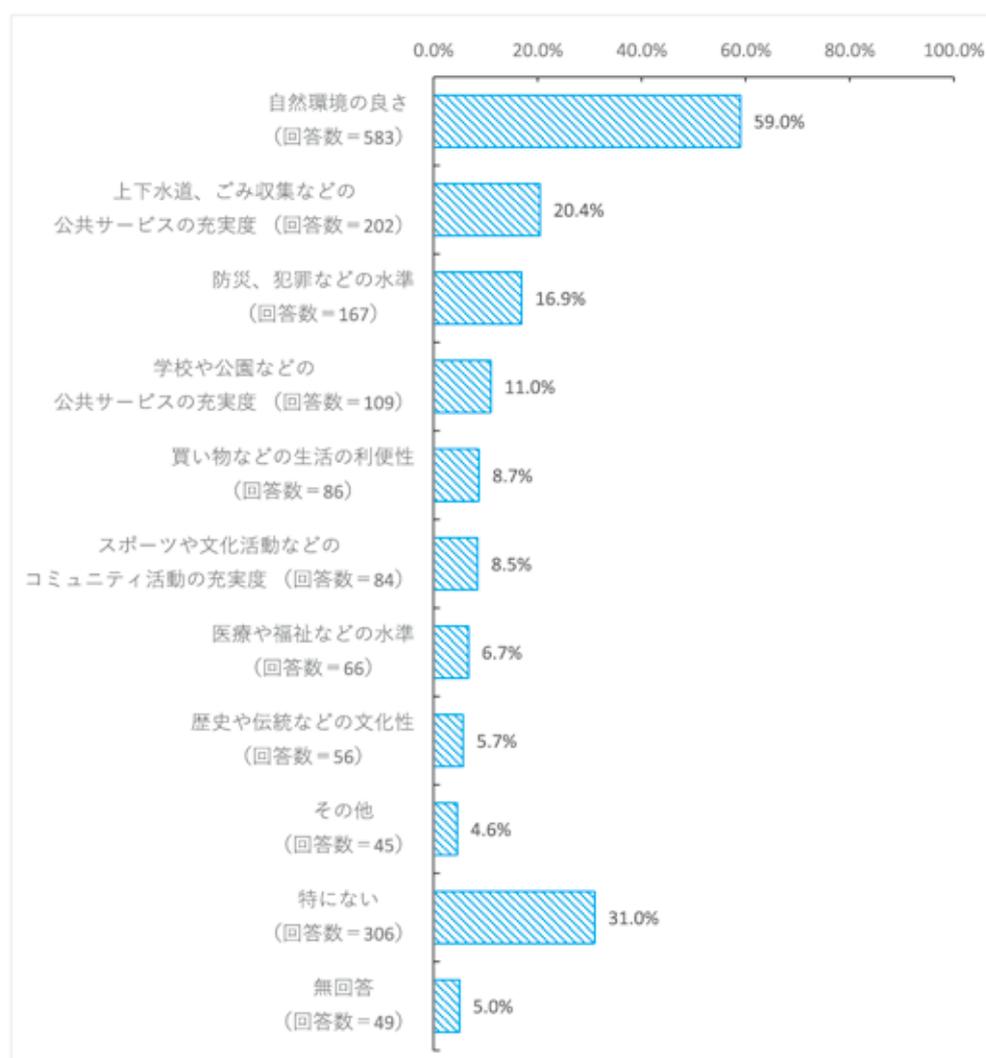
あなたは、今後とも八千代町に住み続けたいと思いませんか。

- 『八千代町への定住意向』については、「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と感じている人が63.9%で、「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」と感じている人が18.9%となっています。



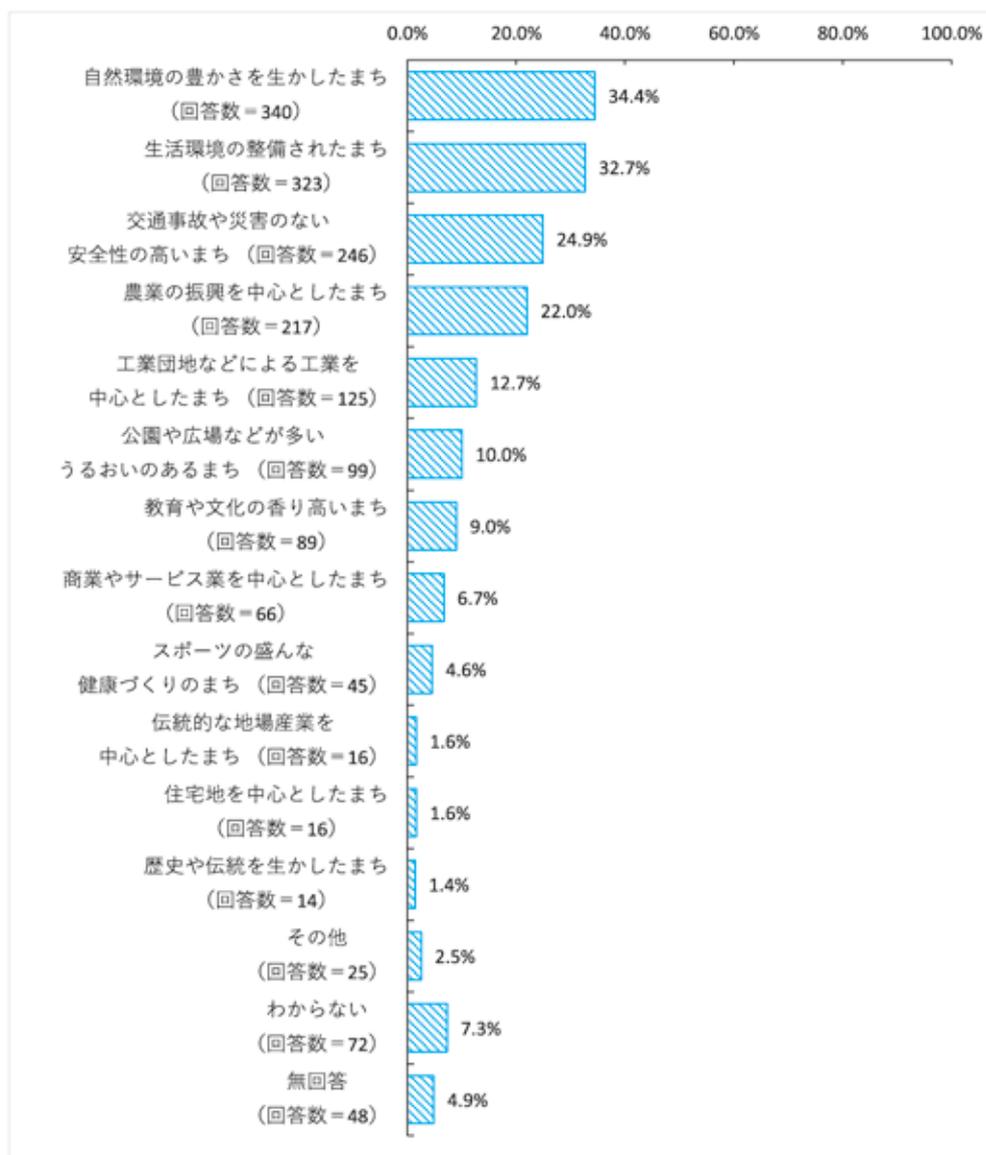
八千代町の誇りや自慢できるものは何ですか。
次の中から、あてはまるものを3つ以内で選んでください。

- 『八千代町の誇りや自慢できるもの』については、「自然環境の良さ」が59.0%で最も高く、次いで「上下水道、ごみ収集などの公共サービスの充実度」が20.4%、「防災、防犯などの水準」が16.9%の順となっています。その一方で「特にない」と回答した人が31.0%となっています。
- その他記載では「農産品」、「図書館、資料館、中央公民館における生涯学習」、「都会のような忙しさはないので暮らしやすいところ」等があげられています。



八千代町の将来はどのようなまちになると良いと思いますか。
次の中から、あてはまるものを2つ以内で選んでください。

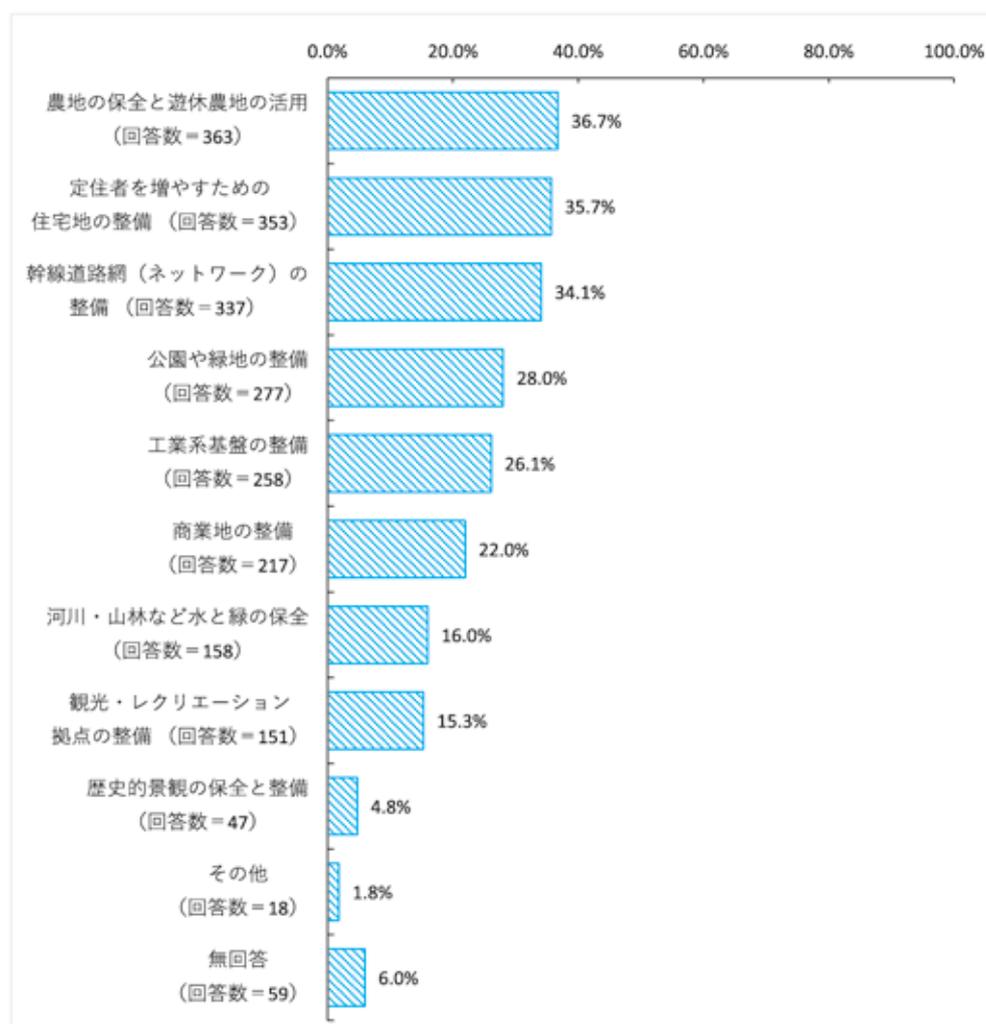
- 『八千代町の将来像』については、「自然環境の豊さを生かしたまち」が34.4%で最も高く、次いで「生活環境の整備されたまち」が32.7%、「交通事故や災害のない安全性の高いまち」が24.9%の順となっています。
- その他記載では「障がい者にやさしい町」、「若い人が定住してくれる行政サービスがしっかりした町」、「外国人就労者を受け入れる環境が整っている町」等があげられています。



八千代町の今後の土地利用のあり方について、あなたが重要だと思う事は何ですか。次の中から、あてはまるものを3つ以内で選んでください。

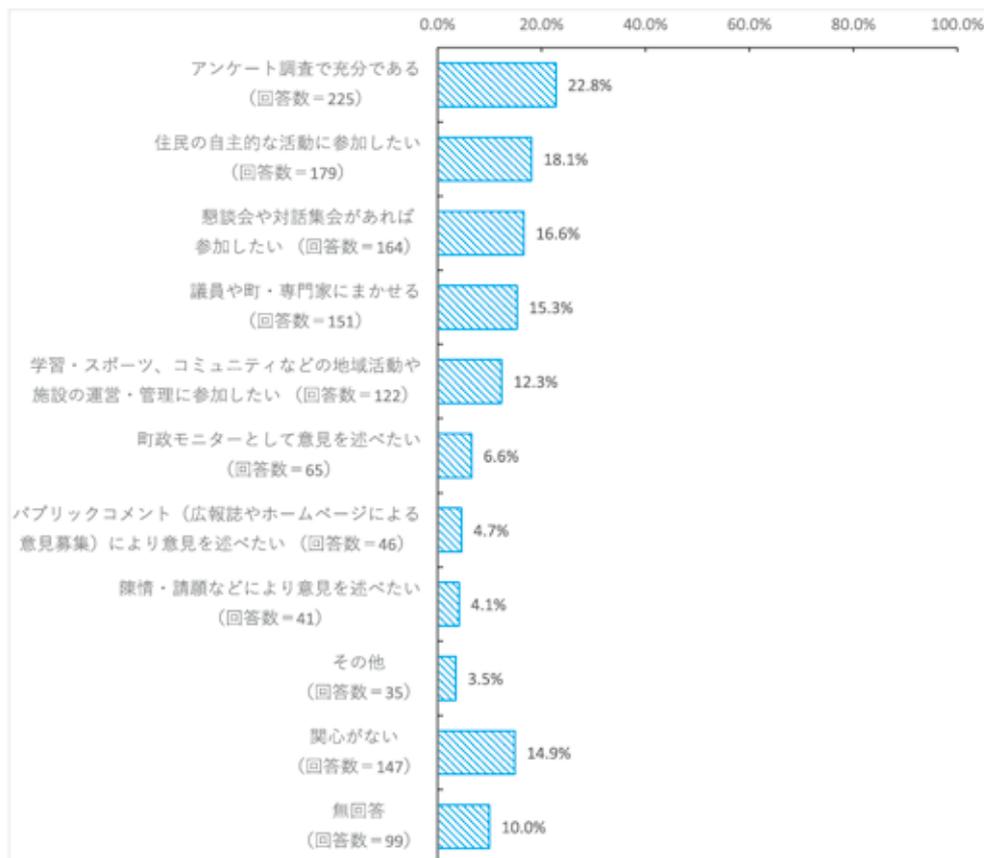
○『八千代町の土地利用のあり方』については、「農地の保全と遊休農地の活用」が36.7%で最も高く、次いで「定住者を増やすための住宅地の整備」が35.7%、「幹線道路網（ネットワーク）の整備」が34.1%となっています。

○その他記載では「歩道、自転車道の整備」、「空家、空地対策・活用」、「雨天時の為の室内施設」等があげられています。



町政への参加については、どのような考えをお持ちですか。
該当する項目全てに「○」をつけてください。

- 『町政への参加』については、「アンケート調査で充分である」が 22.8%で最も高く、次いで「住民の自主的な活動に参加したい」が 18.1%、「懇談会や対話集会があれば参加したい」が 16.6%、「議員や町・専門家にまかせる」が 15.3%の順となっています。
- その他記載では、「八千代町のホームページに、町民BOX等を設け、民意を反映させていく」、「住民と協力した町づくりや観光の振興で成功している自治体を参考にする」等があげられています。



今後のまちづくりについての意見・提案

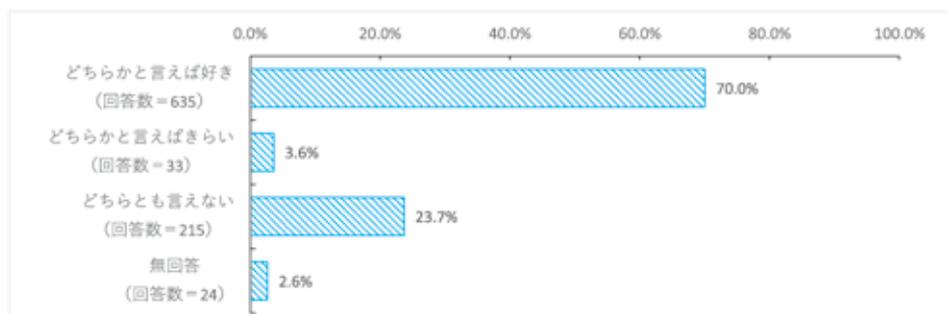
- 公共交通を充実させてほしい
- 治安のいいまちにしてほしい
- 店舗を充実させてほしい
- 外国人労働者と共存できるまちづくりが必要
- インフラを整えてほしい
- 空き家・空き地対策、利活用、整備
- 障がい児（者）にやさしいまちになってほしい
- 雇用の場を増やすため様々な企業を誘致してほしい
- 若者が増えるような（人口が増えるような）取り組みに力をいれてほしい

2) 小・中学生アンケート調査結果の概要

- 調査対象：町内の小学5・6年生の全児童、中学1～3年生の全生徒
- 配布数：943票
- 回収数：907票（回収率：96.2%）
- 調査方法：各学校に配布・回収
- 調査期間：令和元年7月2日～令和元年7月19日

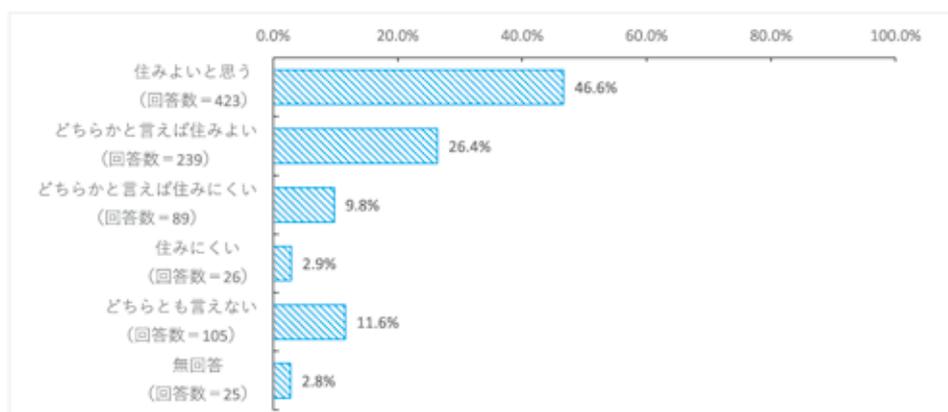
あなたは、八千代町が好きですか。

- 『八千代町が好きか』については、70.0%の子どもたちが「どちらかといえば好き」と感じており、「どちらかと言えば嫌い」と感じている子どもたちの3.6%を大きく上回っています。
⇒より多くの子どもたちが、八千代町に対して愛着を持つことのできる取り組みを進めていくことが求められています。



あなたは、八千代町が住みよい“まち”だと思いますか。

- 『八千代町が住みよいか』については、「住みよいと思う」「どちらかといえば住みよい」と感じている子どもたちが73.0%、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と感じている子どもたちが12.7%となっています。



八千代町が住みよい、または住みにくいと思う理由はなんですか。

■住みよい理由

- 野菜が安価、美味しい
- 自然が豊か、空気がきれい
- 静か
- 広い
- 人が優しい
- 自然災害が少ない
- 事故が少ない
- 東京に近い

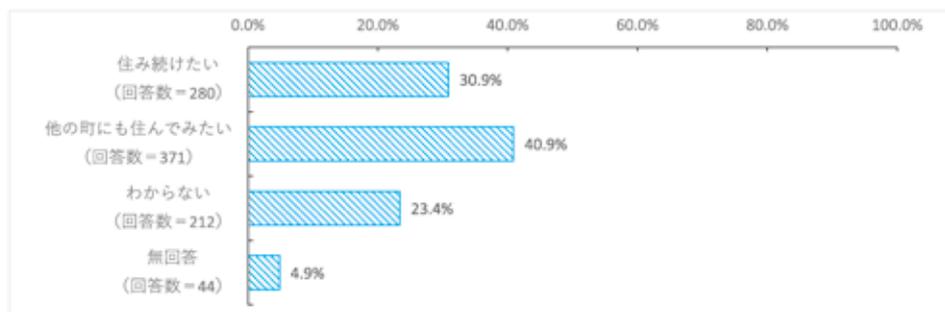
■住みにくい理由

- お店が少ない
- 駅が無い、交通が不便
- 遊ぶところ、公園がない
- 道が狭い、整備されていない
- 外灯が少ない
- ごみが多い
- 家や店など何も無い場所が多く危ない
- 外国人がうるさい

あなたは、これからも八千代町に住み続けたいですか。

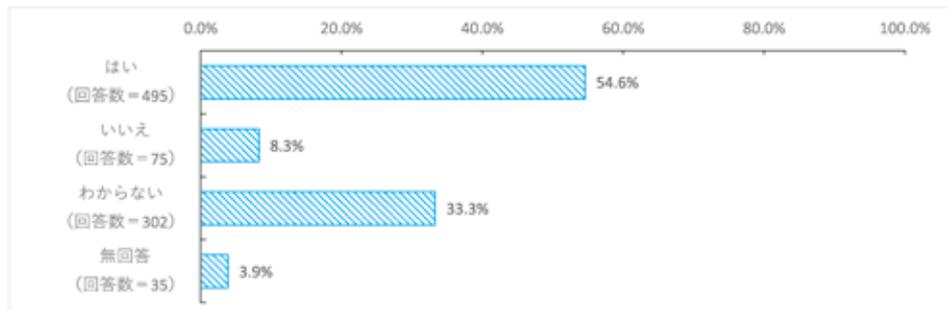
○『八千代町に住み続けたいか』については、30.9%の子どもたちが「住み続けたい」と感じています。また、「他の町にも住んでみたい」と感じている子どもたちが40.9%、「わからない」と回答した子どもたちが23.4%を占めています。

⇒「他の町にも住んでみたい」や「わからない」と回答した子どもたちが、八千代町に住み続けたい、または、一旦転出しても将来は戻ってきたいと感じることのできるまちづくりを進めていくことが求められています。



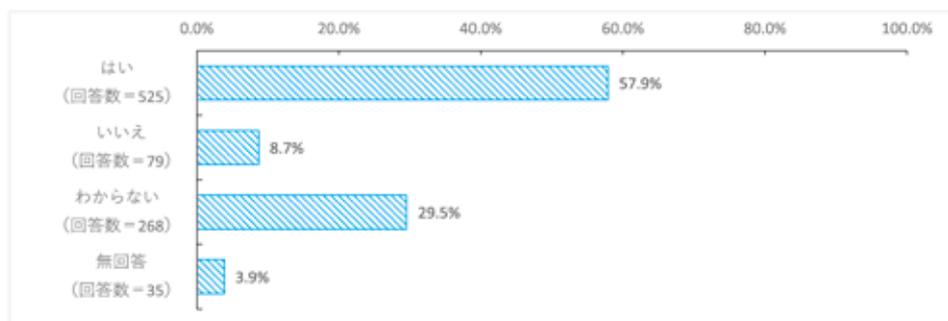
あなたは、将来、結婚したいと思いますか。

○『将来、結婚したいと思うか』については、「はい」と回答した子どもたちが54.6%を占めており、「いいえ」と回答した子どもたちの8.3%を大きく上回っています。その一方で、「わからない」と回答した子どもたちが33.3%を占めています。



あなたは、将来、親になって子どもを育てたいと思いますか。

○『将来、親になり子どもを育てたいか』については、「はい」と回答した子どもたちが57.9%を占めており、「いいえ」と回答した子どもたちの8.7%を大きく上回っています。その一方で、「わからない」と回答した子どもたちが29.5%を占めています。
→子どもたちが親となり、安心して子どもを育てられる環境を整えるため、子育て支援策等の充実を図っていくことが求められています。



あなたは、将来、八千代町がどんな町になってほしいと思いますか。

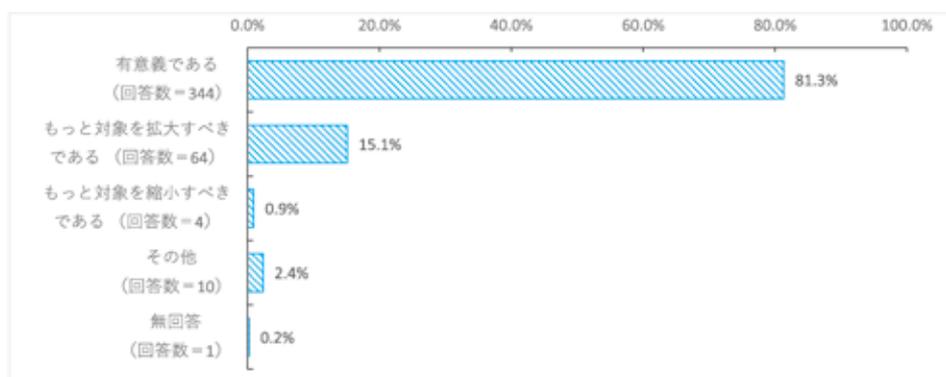
- 事件や事故のない町になってほしい
- 何々1位など注目を受ける有名な町になってほしい
- 技術などが進んだ町になってほしい
- お店が増えて栄えた町になってほしい
- 自然を大切にしながら、いま以上に自然を増やしてほしい
- 人口が増えてほしい
- きれいな町になってほしい
- 平和な町になってほしい
- このままでいい

3) 保護者アンケート調査結果の概要

- 調査対象：町内の認定こども園や幼稚園、保育園に通う児童の全保護者
- 配布数：617票（児童数で配布、実際の保護者数は514人）
- 回収数：423票（回収率：68.6%）
- 調査方法：各園に配布・回収
- 調査期間：令和元年7月9日～令和元年8月2日

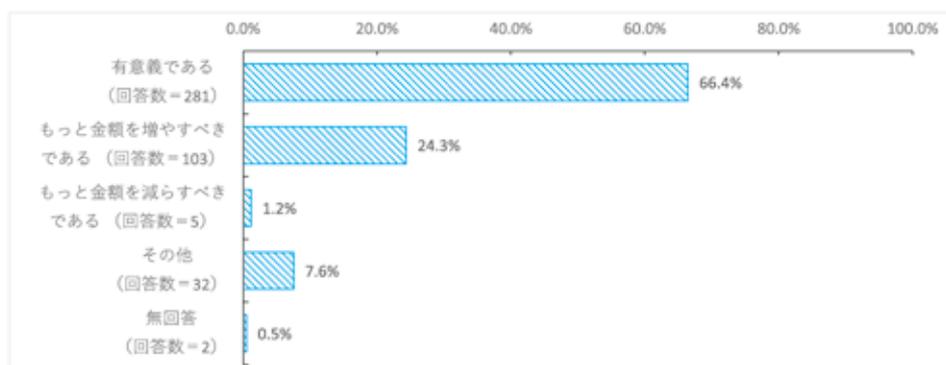
町では、医療福祉費助成事業（マル福制度）の中で、八千代町独自事業として中学1年生から高校3年生までの通完分の医療費を助成しています。この制度について、どう思いますか。

- 『マル福制度における八千代町独自の医療費助成事業』については、81.3%の人が「有意義である」と感じていますが、「もっと拡大すべきである」と感じている人が15.1%となっています。
- その他の記載では「親の所得による制限をなくしてほしい」、「入院分も助成してほしい」、「多子世帯には助成の拡充をしてほしい」等の要望があげられています。



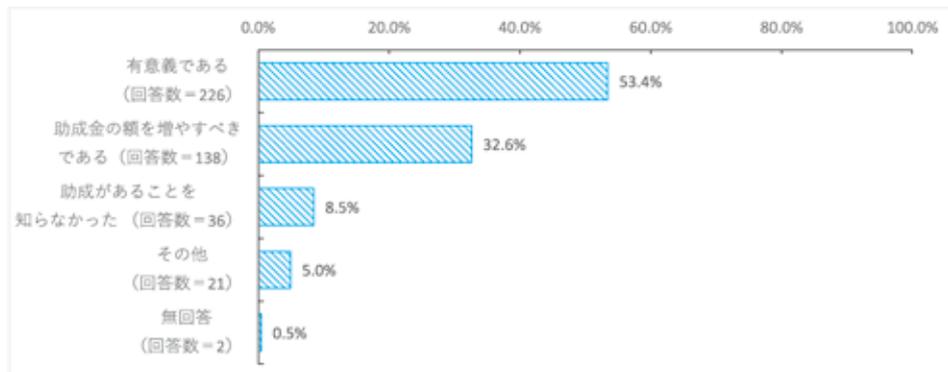
町では、出産子育て奨励金支給事業として、第3子以上の児童を出産された方に対して30万円、第2子の児童を出産された方に対して20万円を支給しています。この制度について、どう思いますか。

- 『出産子育て奨励金支給事業』については、66.4%の人が「有意義である」と感じていますが、「もっと金額を増やすべきである」と感じている人が24.3%となっています。
- その他の記載では「子どものためにしか使えないお金として支給してほしい」、「第1子から支給してほしい」等の意見があげられています。



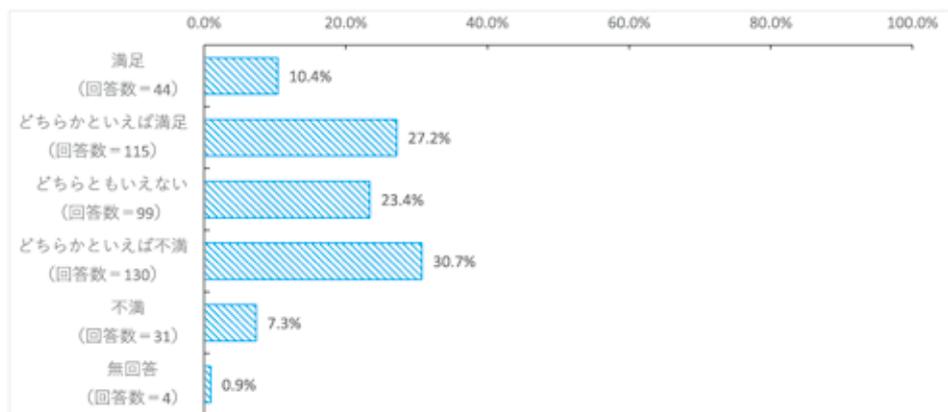
町では、1歳～15歳のお子さんがインフルエンザの予防接種を受けた場合、1回につき2,000円の助成を行っています。制度についてどう思いますか。

- 『子どものインフルエンザ予防接種への助成事業』については、53.4%の人が「有意義である」と感じていますが、「助成金を増やすべきである」と感じている人が32.6%となっています。
- その他の記載では、「学校で集団接種を行うなど小学生以下は無償にしてほしい」、「任意受診の予防接種等にも助成してほしい」、「対象を高校3年生まで拡大してほしい」等の要望があげられています。



八千代町の子育て環境や子育て支援に対する満足度をお答えください。

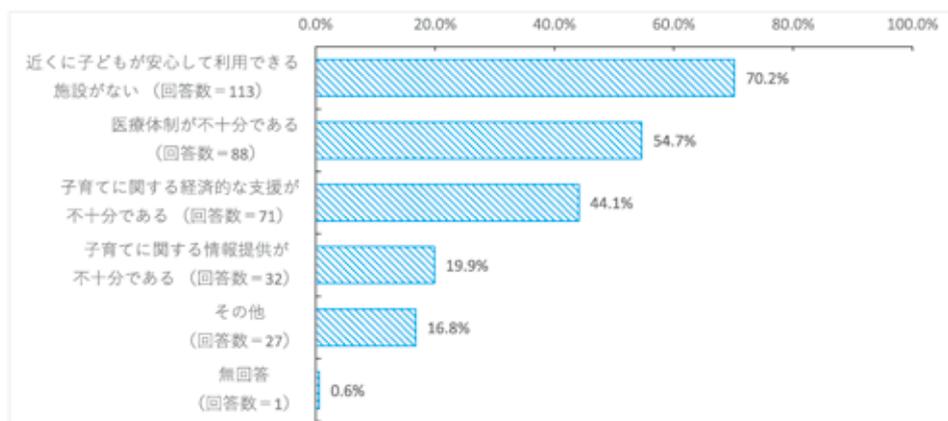
- 『本町における子育て環境や子育て支援に対する満足度』については、「満足」「どちらかといえば満足」であると感じている人が約4割（37.6%）となっていますが、「不満」「どちらかといえば不満」であると感じている人も約4割（38.0%）となっています。
⇒「不満」と感じている人のニーズを把握しながら子育て支援の充実を図り、安心して子育てができる環境を整えていくことが求められています。



八千代町の子育て環境や子育て支援に対する満足度において、「どちらかといえば不満」または「不満」に○をつけた方にお聞きします。どのような点に不満を感じていますか。（複数回答可）

○『本町における子育て環境や子育て支援で不満と感じる主な理由』については、「近くに子どもが安心して利用できる施設がない」が70.2%で最も高く、次いで「医療体制が不十分である」が54.7%、「子育てに関する経済的な支援が不十分である」が44.1%の順となっています。

○その他の記載では、「保育料が高い」、「町内公共施設に授乳室等の整備が不十分」等の意見があげられています。



今後、八千代町にどのような子育て支援の充実を図って欲しいと思いますか。ご意見やご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

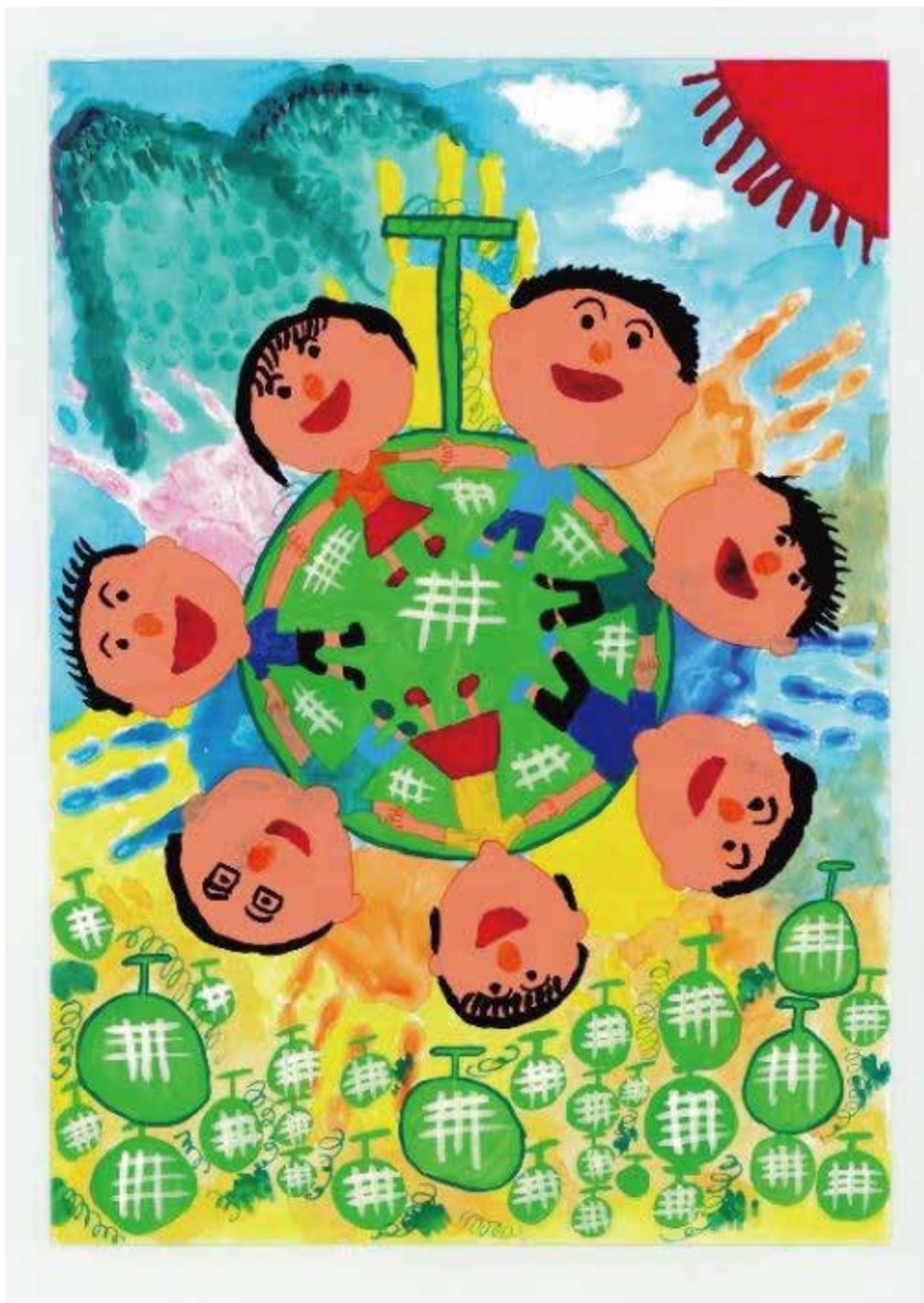
- 保育費、給食費、学童費などに対する助成制度の拡充
- 遊び、医療、施設、団体など近隣の市に行くことが多いので、町内での充実や近隣自治体との連携などをしてほしい
- 未就園児の保護者同士が交流できる機会が増えると良い
- 公共施設であまり使用されていない場所を子どもの遊び場などに提供してほしい
- 通学路等で狭く暗い場所があるので、子どもだけで歩かせたりするのが不安、道路の幅やガードレール、街路灯を設置してほしい
- 産婦人科や小児科等医療の充実
- 発達が不安な子どもに対する取り組みを充実してほしい
- 語学教育の点から、町内にいる外国人との交流機会を作ってほしい

8. 「未来の八千代町」ポスター・標語

10年間の第6次総合計画（将来のまちの姿や、まちづくりの考え方を示す計画）を策定するにあたり、「未来の八千代町」をテーマとして、小学生から高校生までを対象にポスター作品を、広報紙やホームページにて一般の方を対象に標語を募集しました。

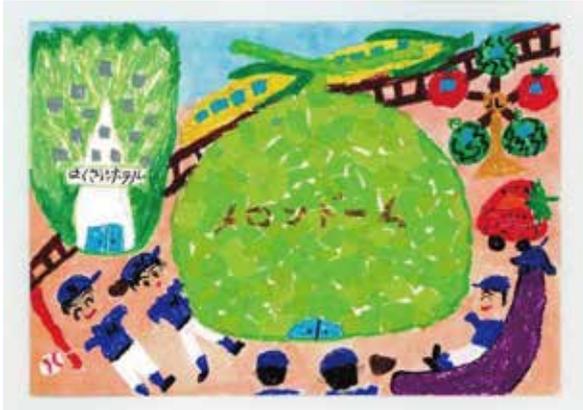
《ポスター優秀作品》

【最優秀賞】

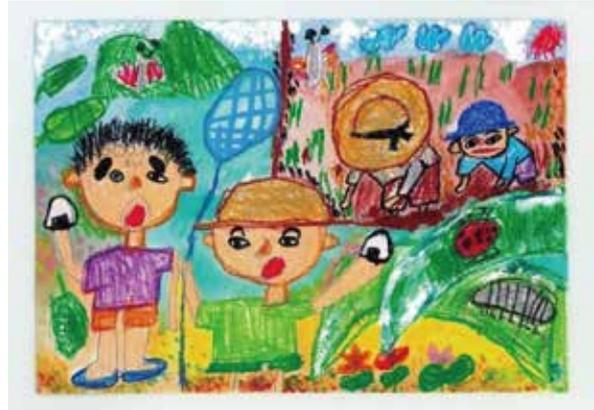


「メロン畑で笑顔あふれる明るい八千代町」 下結城小学校4年 生井颯馬

【優秀賞】



「メロンドームシティ」
中結城小学校1年 安田忠陽



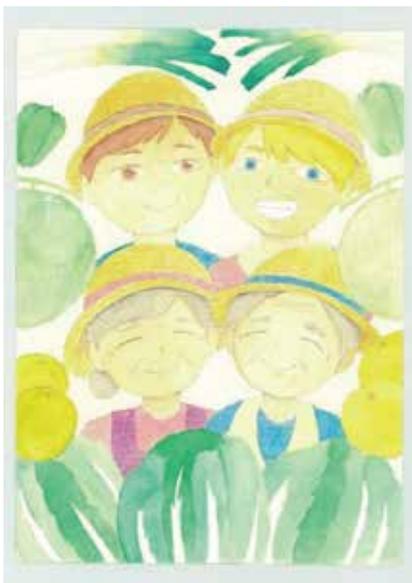
「いちゃんと田植え～八千代のお米はおいしいぞ～」
下結城小学校1年 生井遙馬



「買い物、通院に便利な八千代町」
安静小学校6年 瀬崎那奈



「めざそう！！きれいな八千代町」
中結城小学校6年 大森樹里



「豊かな実りと町の笑顔」
東中学校2年 廣瀬夏美

【佳作】



「八千代のメロンのモノレールと新幹線」
西豊田小学校1年 是則結香



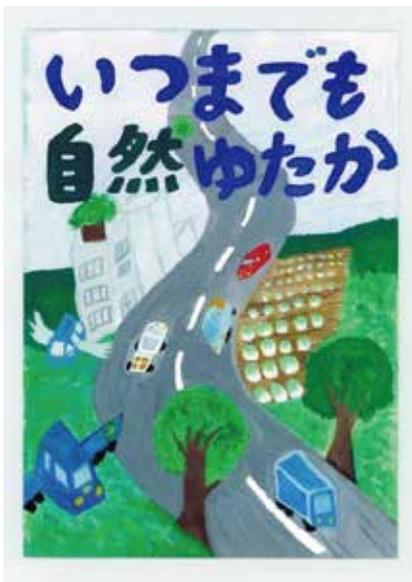
「あったらいいな ぼくのまちに」
下結城小学校1年 古谷栞良



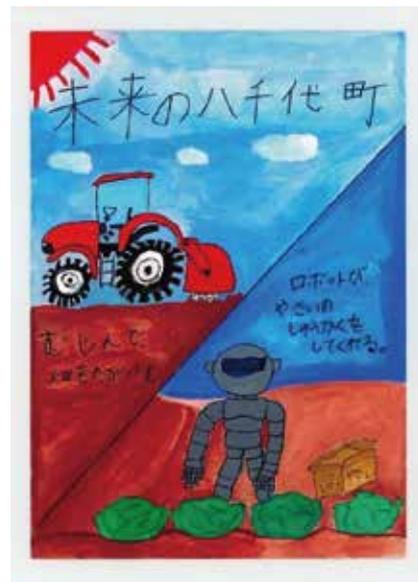
「町に電車がやってきた」
川西小学校1年 時田皐光



「白菜吸取（スイト）リコプター」
中結城小学校2年 小野里星奈



「いつまでも自然豊か」
下結城小学校3年 金澤梨音



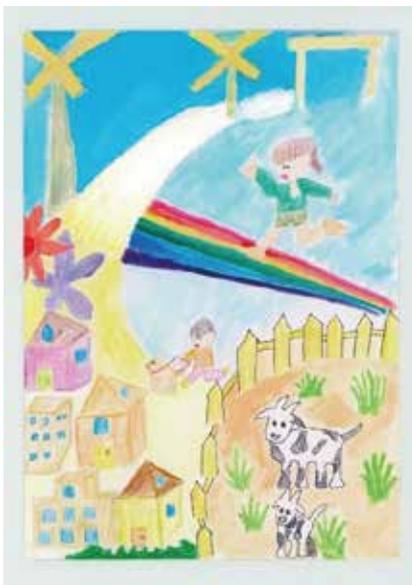
「未来の農業」
下結城小学校3年 北野颯介



「未来にはなまるカフェがやってきた」
中結城小学校4年 小林明莉



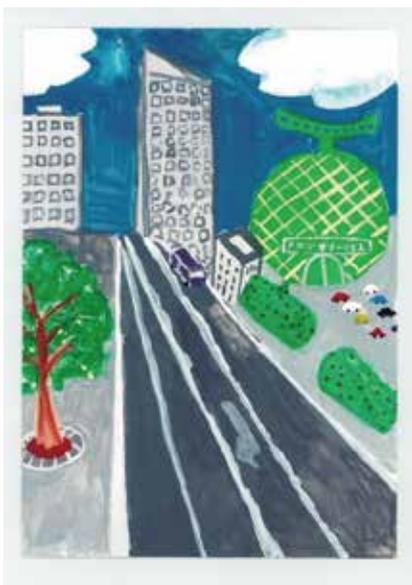
「移住者サポート『畑がついてきます』」
下結城小学校4年 山崎成梧



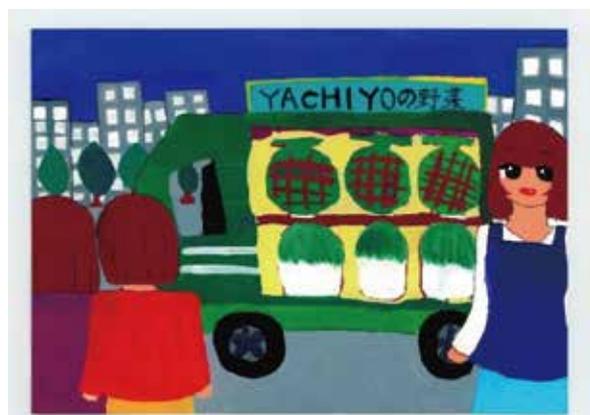
「にじと私 未来の八千代へ走りだす」
西豊田小学校5年 生井千愛



「八千代町に電車がやってきた」
安静小学校5年 高橋杏奈



「八千代も都会になる」
下結城小学校5年 飯山史央



「八千代の野菜・果物全国へ」
第一中学校1年 中村妃来



「全国に愛情いっぱい白菜を」
第一中学校2年 坂入悠月



「環境にやさしい八千代町」
東中学校2年 齊藤日向

《標語優秀作品》

1. 未来へと暮らしやすさを繋ぐ町 【宮崎県 60代】
2. いきいきといのち輝くまち やちよ 【神奈川県 70代】
3. 緑豊かなこの町で 学ぼう 遊ぼう はぐくもう 子ども達に輝く未来を 【八千代町 30代】
4. 日本の食を支える八千代町 育て未来へ 若きファーマー 【神奈川県 70代】
5. 彩る夢 みんなが主役の町づくり 【東京都 50代】

9. タイムカプセルプロジェクト「10年後の自分からの手紙」

第6次総合計画の策定にあたり、子どもたちが考える将来を把握し、今後のまちづくりに活かしていくため、町内の中学校と高校に通う生徒を対象に「10年後の自分からの手紙」を募集したところ、1,072通の手紙が集まりました。

10年後の2031年、第7次総合計画とともに、この手紙は本人のもとに返却されます。



LETTER FROM THE FUTURE

八千代町の中学生・高校生のみならず
10年後の自分からの手紙プロジェクト
ご参加ありがとうございました。

応募作品は2031年の自分に届きます。

2030 ▶▶▶ 2020 ▶▶▶ 2031

10年前の八千代町は
倉だったのに、高い建
物がたくさん建って便利
な町になりました

八千代町は人口
が減って、学校が減
りました

緑が増え、エネルギー
を消費しないエアコンなど
が開発され、地球温暖化は
改善されています

私はやりたいことを
みつけて、それに向け
て頑張っています

タイムマシーン
できましたか？

八千代町は医療が
発展したよ

5Gでネット回線
はすごく速いです

親孝行して
いるはず

人口が増えて
八千代市になった

AIが仕事や家事を
やってくれます

空飛ぶ車に
乗ってます

開発が進んで、植物
や畑が減っています

八千代町でのんびり
暮らしながら、テレワ
ークで仕事してます

大人は自分が思っ
ていたより大変なことが
多いです

八千代町 セルプロジェクト 自分からの手紙

少子高齢化が進
み、働ける人が少
なくなりました

勇気は一瞬！
後悔は一生！！
何にでもチャレンジ
しよう

医療が行き届い
ていない国で、命
を繋ぐお手伝いを
しています

友達とシェアハウ
スで暮らしています

家庭ロボットが
全ての家事をしてく
れます

人口も半分以上減
りました
少子高齢化が進ん
でいます

いろいろな地区
に公園ができた

ショッピングモー
ルができました

俺は夢を叶えたぞ！
10年前の自分
「頑張れ！」

地下にも町が広
がりました

遊園地ができ
ています

いろいろな飲食店
ができました

バリバリ働きなが
ら、ママをするのが
理想です

まれというこ
じさん」と言わ
れられています

10年前は店があま
りなくてどこが中心か分
からなかったけど、発展して
店もたくさんあるよ

人と接する職業
で、毎日、人を笑顔
にしています

10. SDGsについて

SDGsは、「持続可能な開発目標」という意味で、2015年に国連サミットで採択され、2030年までに達成するため掲げられた目標です。

《施策に関連するSDGs》

	1 貧困をなくそう	2 気候変動に 適応する	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実践しよう	6 安全な水とトイレを 世界中に
1-1 心地よい自然環境・景観形成						○
1-2 計画的な土地利用						
1-3 バランスの良い生活基盤						○
1-4 暮らしやすい住環境			○		○	○
1-5 安心につながる消防・防災			○	○		○
1-6 町ぐるみの防犯・交通安全			○	○		
2-1 人生100年時代の健康づくり		○	○	○		
2-2 町民に身近な保健・医療			○	○		
2-3 みんなで支え合う地域福祉			○	○		
2-4 安心して暮らせる高齢者福祉			○	○		
2-5 自立できる 障がい者・障がい児福祉	○		○	○		
2-6 適正な社会保障制度	○		○			
3-1 守り育む子育て環境	○		○		○	
3-2 日本で・世界で、 未来に向けた人財育成		○	○	○		
3-3 地域で見守る青少年健全育成			○	○		
3-4 生きがいにつながる生涯学習				○		
3-5 受け継がれる地域文化				○		
3-6 誰もが親しめるスポーツ・ レクリエーション			○	○		
4-1 持続的な農業の振興				○		○
4-2 地域に根ざした商工業の振興	○			○		
4-3 地域資源を活かす観光の振興						
4-4 働き続けられる雇用	○		○	○		
5-1 町民が主役のまちづくり			○	○	○	
5-2 誰もが平等な明るい社会				○	○	
5-3 多彩な交流の推進				○		
5-4 デジタル社会への対応			○			

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
○				○	○	○	○	○		○
	○	○		○						○
		○		○		○	○			○
		○	○	○	○					○
				○		○				○
○			○	○					○	○
			○							○
			○						○	○
			○	○		○				○
	○		○	○		○			○	○
	○		○	○		○			○	○
	○		○						○	○
	○		○	○					○	○
○	○		○		○				○	○
									○	○
				○	○					○
	○			○	○					○
	○			○	○					○
	○	○			○	○		○		○
	○	○								○
	○	○			○					○
	○		○							○
			○	○		○			○	○
	○		○						○	○
	○	○	○	○				○		○
	○	○	○	○		○			○	○

《持続可能な開発目標（SDGs）の各ゴールの説明》

	<p>ゴール1【貧困】 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>		<p>ゴール10【不平等】 各国及び各国間の不平等を是正する。</p>
	<p>ゴール2【飢餓】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>		<p>ゴール11【持続可能な都市】 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>
	<p>ゴール3【保健】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>		<p>ゴール12【持続可能な消費と生産】 持続可能な消費生産形態を確保する。</p>
	<p>ゴール4【教育】 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>		<p>ゴール13【気候変動】 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>
	<p>ゴール5【ジェンダー】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。</p>		<p>ゴール14【海洋資源】 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>
	<p>ゴール6【水・衛生】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>		<p>ゴール15【陸上資源】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>
	<p>ゴール7【エネルギー】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。</p>		<p>ゴール16【平和】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>
	<p>ゴール8【経済成長と雇用】 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセントワーク）を促進する。</p>		<p>ゴール17【実施手段】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p>
	<p>ゴール9【インフラ、産業化、イノベーション】 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>		



八千代町第6次総合計画



八千代町 企画財政部 まちづくり推進課
〒300-3592 茨城県結城郡八千代町大字菅谷 1170

TEL 0296-48-1111

FAX 0296-48-0161

<http://www.town.ibaraki-yachiyo.lg.jp/>